

海外事業所の環境負荷

理想科学グループは、海外に17の子会社を持ち、150カ国以上の国々に販売・サービスを提供しています。海外の各子会社においても環境負荷低減に向けて活動を推進しています。

■ 海外非生産事業所の環境負荷

集計範囲: 海外13子会社 (RISO,INC. RISO FRANCE S.A. RISO (Deutschland)GmbH RISO EUROPE LTD. RISO (U.K.) LTD. RISO IBERICA,S.A. RISOGRAF ITALIA S.p.A. RISO AFRICA (PTY) LTD. RISO KOREA LTD. RISO HONG KONG LTD. RISO (Thailand) LTD. RISO INDIA PRIVATE LIMITED 珠海理想科学工業有限公司)

INPUT

	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)
エネルギー使用量原単位 GJ/人*1	62.2*2	61.3	99
エネルギー使用量 GJ/年	32,407	28,866	89
電気使用量 GJ/年	14,845	13,702	92
天然ガス GJ/年	780	528	68
ガソリン GJ/年	11,550	9,920	86
軽油 GJ/年	5,232	4,716	90
水の使用量 (m³)	9,904	15,878*3	160

OUTPUT

	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)
CO ₂ 排出量原単位 t-CO ₂ /人*1	3.87*2	3.74	97
CO ₂ 排出量 t-CO ₂ /年	1,974	1,760	89
電気 t-CO ₂ /年	805	747	93
天然ガス t-CO ₂ /年	37	25	68
ガソリン t-CO ₂ /年	774	665	86
軽油 t-CO ₂ /年	358	323	90
排水量 (m³)	9,904	15,878*3	160

- *1…海外の非生産事業所については、事業所の移動、人員の増減、調査の可否など変動が大きいため、調査を実施した事業所に所属する従業員の総数を分母として原単位を求め、効率の推移を表しました。
 *2…昨年度報告の2009年度海外子会社の人員数のうち珠海理想の人員数の集計に誤りがあったため訂正します。
 2009年度 エネルギー使用量原単位(正62.2←誤66.3)、CO₂排出量原単位(正3.87←誤4.04)
 *3…水の使用量、排水量が約6,000m³増加していますが事業所の移動により集計可能となった量約3,000m³(RISO AFRICA)、人員および活動量の増加約3,000m³ (RISO INDIA)です。

■ 海外生産事業所の環境負荷

集計範囲: 理想科学グループの海外全生産拠点(中国内の珠海理想科学工業有限公司珠海工場ほか)
 集計対象: エネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量、水使用量と排水量、廃棄物排出量。
 生産での物質投入量、社有車の燃料使用量とそれに伴うCO₂排出量。
 輸送業者に委託する貨物輸送に伴うデータ、および営業部門でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量は含んでいません。

INPUT

	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)
エネルギー使用量 GJ/年	11,534	10,982	95
電気使用量 GJ/年	10,147	9,725	96
A重油 GJ/年	82	8	10
灯油 GJ/年	0	1	-
軽油 GJ/年	0	0	-
ガソリン GJ/年	1,305	1,248	96
水の使用量 (m³)	10,850	9,488	87
金属 (t)	2,281	2,469	108
プラスチック (t)	821	861	105
ガラス (t)	0	9	-
紙 (t)	836	417	50
その他 (t)	1,709	1,648	96
小計	16,497	14,892	90

OUTPUT

	2009年度	2010年度	2009年度比 (%)
CO ₂ 排出量 t-CO ₂ /年	1,111	1,061	95
電気 t-CO ₂ /年	1,017	976	96
A重油 t-CO ₂ /年	6	1	17
灯油 t-CO ₂ /年	0	0	-
軽油 t-CO ₂ /年	0	0	-
ガソリン t-CO ₂ /年	88	84	95
排水量 (m³)	10,393	9,008	87
蒸気放散・散水その他 (m³)	0	0	-
製品 (t)	6,104	5,884	96
小計	16,497	14,892	90
廃棄物排出量*1 (t)	91	81	90
再生投入量*2 (t)	30	25	-
再資源化量*3 (t)	49	43	88
その他*4 (t)	4	5	124
埋立最終処分量*5 (t)	2	5	200

- *1廃棄物排出量…当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるものを全てを廃棄物としています。
 *2再生投入量…再資源化処理されたもののうち原材料として工程に再投入される量です。
 *3再資源化量…再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量で有価物をふくめた合計量で、工程に再投入されるは除く。
 *4その他…再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量などの減量分および処理区分を明確にできないもの。
 *5埋立最終処分量…埋立処分される量。再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含む。